

令和 8 年度第 3 回和田区地域協議会 次 第

日時：令和 8 年 6 月 17 日（水）午後 6 時 30 分～
会場：ラーバンセンター 第 1 研修室

1 開会

2 自主的な審議

(1) 「地域自治の推進に向けた今後の方策案について」の振り返り

3 事務連絡

4 閉会

【次回協議会 7 月 15 日（水）午後 6 時 30 分～：ラーバンセンター】

【次々回協議会 8 月 19 日（水）午後 6 時 30 分～：ラーバンセンター】

協働・共創まちづくり補助金 + まちづくりスタートアップ補助金

ポイント

- ✓ 予算を「枠」配分する・・・自己負担が生じる問題への対処、提案期限に配慮、高額経費の計上への対応
- ✓ 旧制度の良い点を継承・・・
 - 地域活動支援事業 地域協議会の「協働の要」としての役割
→ 地域協議会が審査することにより、地域の合意による実施を担保（制度①にて対応）
 - 地域独自の予算事業 提案のしやすさ
→ 地域協議会を通さないことにより、萌芽的な活動を推奨（制度②にて対応）

【制度概要】

① 協働・共創まちづくり補助金

- ・ 地域が主体的に考え、地域の様々な主体による連携・協働により、持続可能な地域づくりに貢献する活動に対し、補助金を交付
- ・ 一定の予算額を28地域自治区へ配分

② まちづくりスタートアップ補助金

- ・ 地域課題を主体的に捉え、新たにまちづくりへ一歩踏み出すような活動を支援
- ・ 新たなまちづくりの担い手や団体の発掘にも期待

① 協働・共創まちづくり補助金

【概要】

一定額の補助金を28区を枠配分（均等割、人口割）

地域協議会で策定する「地域ビジョン」に基づく公益的な地域活動へ補助

【対象団体】

地域の団体（5人以上の構成員で、市の区域内で活動する法人及び団体。）

【補助率・額】

10/10以内。ただし、交際費・飲食費などの対象外経費を設定

総額は、現在見直しを行っている市の財政計画や、これまでの地域活動支援事業、地域独自の予算事業の状況等を踏まえて設定

【予算計上方法・提案時期】

地域政策課にて金額のみ予算計上、提案は実施年度の前年12月末に締切

【審査】

地域協議会にて実施（簡素な方法を想定）

② まちづくりスタートアップ補助金

【概要】

新規事業の実施に係る初期費用への支援

区域を越えた、区域にこだわらない活動も対象

【対象団体】

地域の団体（2人以上の構成員で、市の区域内で活動する法人及び団体。）

【補助率・額】

上限を設けて定額補助。①と同様に対象外経費を設定

総額は調整中

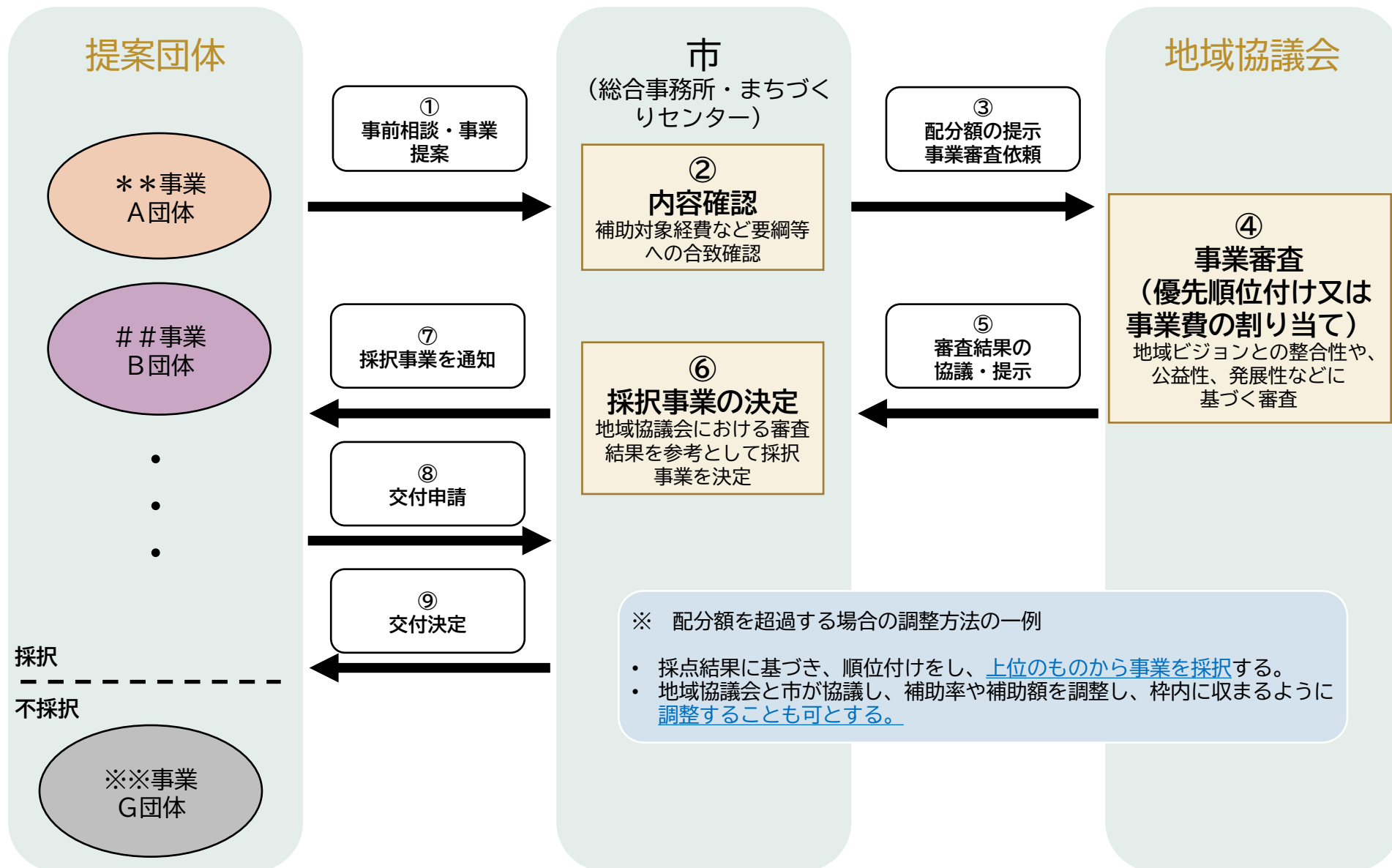
【予算計上方法・提案時期】

地域政策課にて金額のみ予算計上、提案は実施年度の前年12月末に締切

【審査】

市で実施

①協働・共創まちづくり補助金 取組実施までの流れ



地域ビジョンの必要性と活用方法

- 人口減少の進行や社会経済環境が大きく変化する中、地域で様々な主体（市民・事業者・各種団体・行政等）が連携し、各区固有の地域課題に対応していくため、地域全体で進むべき方向性を見失わないための指針が必要。
- 地域における課題解決に向けた取組の整理・実施のよりどころとするほか、地域を次代に継承するため、地域の取組を誰が担うのかを考える上で地域ビジョンを活用していく。

地域ビジョンの策定プロセスと骨子

- 当初は既に策定済みの「地域活性化の方向性」やまちづくりに係る指針等を転用することも可能。
- 今後、自主的審議や地域の団体等との意見交換等の成果の反映、地域住民と協働で策定するなど、必要に応じて更新作業を行う。
- 策定作業については、総合事務所やまちづくりセンター等が伴走支援する。

地域ビジョンのイメージ（一例）

区名	地域の現状と課題	まちづくりの方向性	各種取り組み
〇〇区	(1)、 (2)、 (3)、 ① これまでの議論、意見交換等を踏まえ、地域の課題を列記	〇 を目指します。 (1)、 (2)、 (3)、 ② 地域活性化の方向性をベースとして取組方針を設定	(1) 事業 (1) 事業 (1) 事業 (2) 事業 (2) 事業 (2) 事業 (2) 事業 (3) 事業
			③ 地域で現在取り組んでいる活動を見える化 ④ 取組が弱い・不足している等の分野の気づきを得る ⑤ ビジョンへの追加・修正や取組の更新の検討に活用
			手薄な分野

和田区における「地域活性化の方向性」

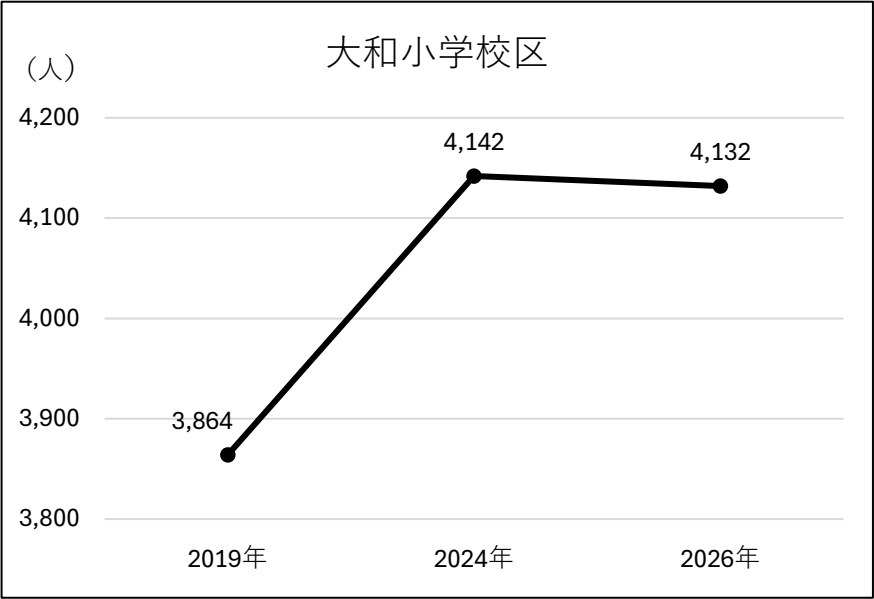
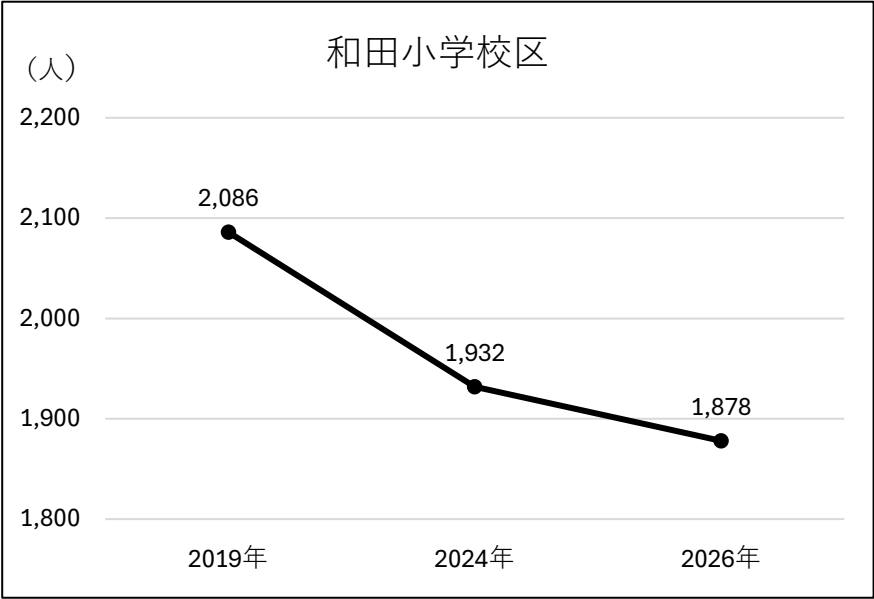
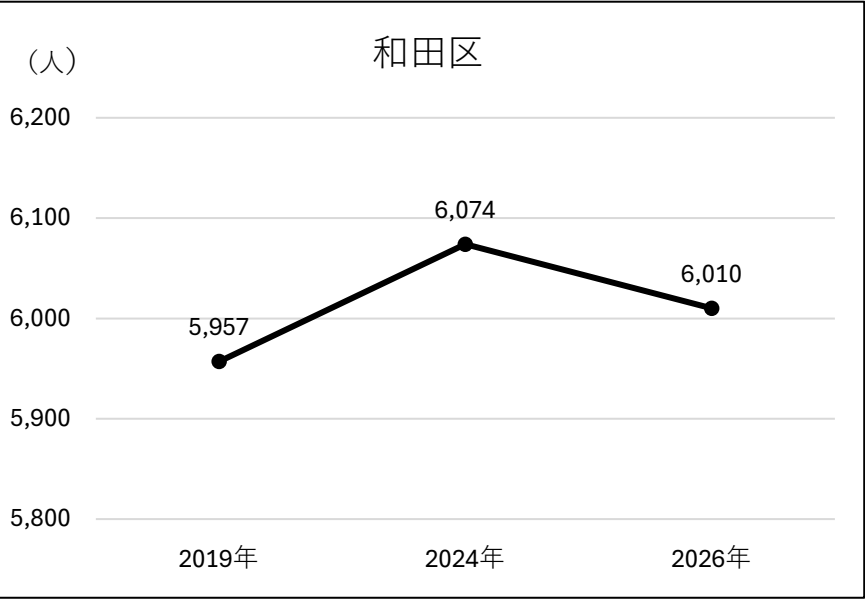
《和田区の地域活性化に向けて》

和田区は、上越地域のゲートウェイとしての特性、魅力ある歴史・文化と豊かな自然・農地を活かし、住みやすい、住みたい、訪れたい地域を目指します。

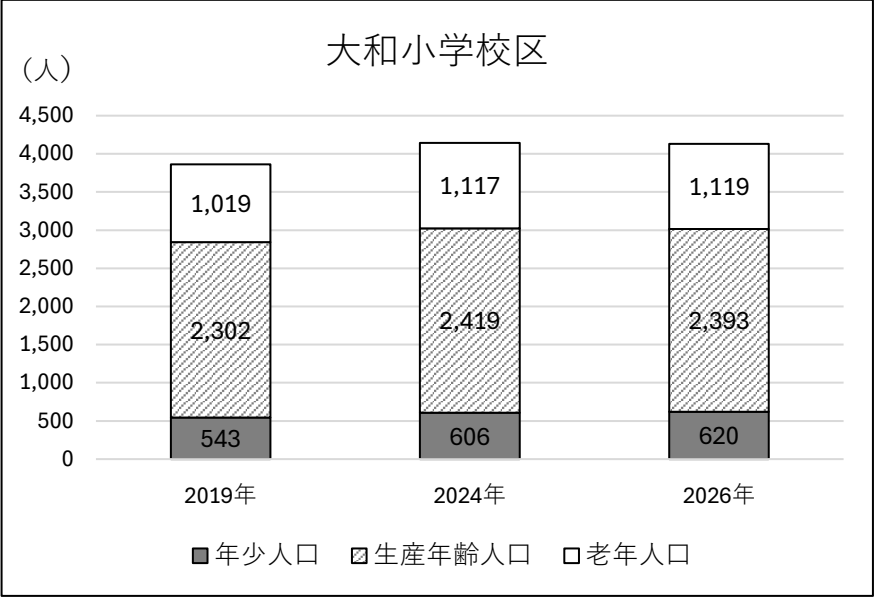
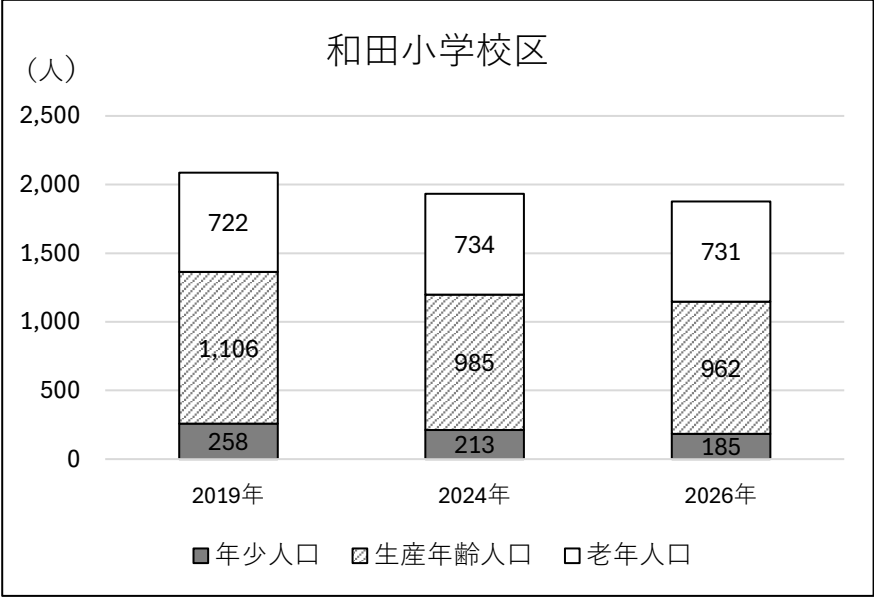
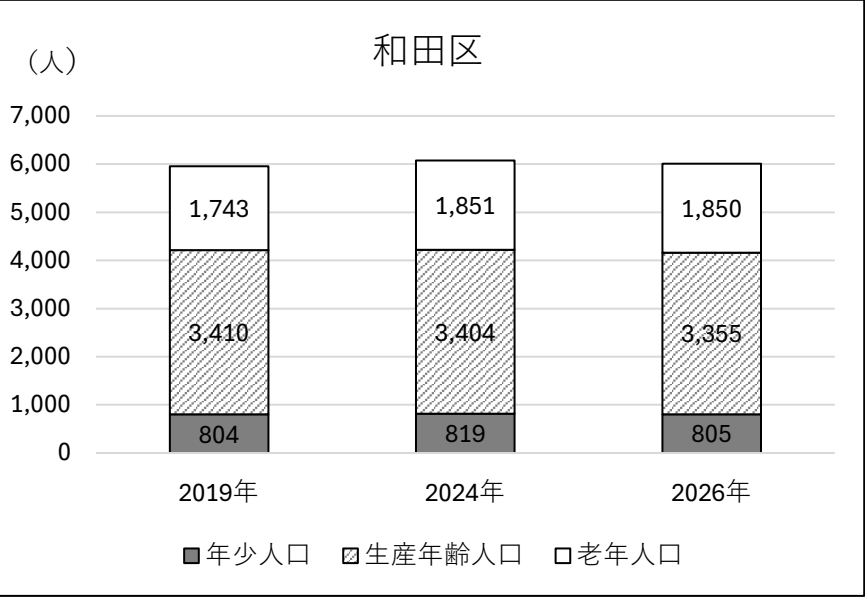
○構成要素

・ 交通の要衝としての上越妙高駅や情報通信の拠点を活かした地域振興
・ 吹上・釜蓋遺跡や地域の宝などの歴史・文化の発信、活用
・ 次世代を担う人材の育成とイベントの開催を通じた交流人口の拡大
・ 妙高山をはじめとする美しい景観・自然、豊かな農地等の環境保全、活用
・ 安心安全で、福祉の充実した暮らしやすい地域づくり

■全体人口推移



■年齢分類別人口推移



【和田区】				
年次	2019年	2024年	2026年	
年少人口	804	821	806	
生産年齢人口	3,410	3,407	3,359	
老年人口	1,743	1,853	1,852	
合計	5,957	6,081	6,017	
(参考)世帯数	2,143	2,369	2,425	

【和田小学校区】				
年次	2019年	2024年	2026年	
年少人口	258	213	185	
生産年齢人口	1,106	985	962	
老年人口	722	734	731	
合計	2,086	1,932	1,878	
(参考)世帯数	705	713	738	

【大和小学校区】				
年次	2019年	2024年	2026年	
年少人口	543	606	620	
生産年齢人口	2,302	2,419	2,393	
老年人口	1,019	1,117	1,119	
合計	3,864	4,142	4,132	
(参考)世帯数	1,436	1,654	1,685	

※各年4月末日時点の住民基本台帳人口

※年少人口…15歳未満、生産年齢人口…15～64歳、老年人口…65歳以上

■住所別人口一覧

【和田小学校区】

木島	2019年	2024年	2026年
年少人口	19	14	16
生産年齢人口	114	90	80
老年人口	86	85	84
合計	219	189	180
(参考)世帯数	74	77	75

島田上新田	2019年	2024年	2026年
年少人口	2	3	3
生産年齢人口	23	22	20
老年人口	24	27	27
合計	49	52	50
(参考)世帯数	16	17	20

島田	2019年	2024年	2026年
年少人口	32	24	22
生産年齢人口	168	130	124
老年人口	124	125	118
合計	324	279	264
(参考)世帯数	97	98	96

島田下新田	2019年	2024年	2026年
年少人口	4	2	4
生産年齢人口	32	24	24
老年人口	23	21	21
合計	59	47	49
(参考)世帯数	15	15	16

上箱井	2019年	2024年	2026年
年少人口	50	41	36
生産年齢人口	98	102	107
老年人口	42	50	51
合計	190	193	194
(参考)世帯数	56	59	60

中箱井	2019年	2024年	2026年
年少人口	5	11	9
生産年齢人口	24	28	27
老年人口	36	38	35
合計	65	77	71
(参考)世帯数	28	32	31

岡原	2019年	2024年	2026年
年少人口	8	8	6
生産年齢人口	33	25	23
老年人口	28	28	25
合計	69	61	54
(参考)世帯数	22	22	21

下箱井	2019年	2024年	2026年
年少人口	37	22	18
生産年齢人口	104	101	97
老年人口	56	56	59
合計	197	179	174
(参考)世帯数	58	58	58

五ヶ所新田	2019年	2024年	2026年
年少人口	2	0	0
生産年齢人口	9	9	8
老年人口	6	5	5
合計	17	14	13
(参考)世帯数	5	5	5

丸山新田	2019年	2024年	2026年
年少人口	0	4	2
生産年齢人口	17	15	11
老年人口	8	9	10
合計	25	28	23
(参考)世帯数	8	10	10

下新田	2019年	2024年	2026年
年少人口	3	0	0
生産年齢人口	18	15	13
老年人口	18	17	15
合計	39	32	28
(参考)世帯数	14	14	14

西田中	2019年	2024年	2026年
年少人口	10	5	4
生産年齢人口	50	42	44
老年人口	40	32	33
合計	100	79	81
(参考)世帯数	37	29	34

寺町	2019年	2024年	2026年
年少人口	35	34	28
生産年齢人口	200	187	186
老年人口	112	121	122
合計	347	342	336
(参考)世帯数	129	134	148

石沢	2019年	2024年	2026年
年少人口	51	45	37
生産年齢人口	216	195	198
老年人口	119	120	126
合計	386	360	361
(参考)世帯数	146	143	150

【大和小学校区】

今泉	2019年	2024年	2026年
年少人口	0	0	0
生産年齢人口	5	8	8
老年人口	53	50	43
合計	58	58	51
(参考)世帯数	55	53	45

稲荷	2019年	2024年	2026年
年少人口	15	11	10
生産年齢人口	63	49	43
老年人口	46	51	53
合計	124	111	106
(参考)世帯数	41	41	40

大和1丁目	2019年	2024年	2026年
年少人口	113	107	96
生産年齢人口	424	451	451
老年人口	223	229	233
合計	760	787	780
(参考)世帯数	265	302	312

大和2丁目	2019年	2024年	2026年
年少人口	97	114	130
生産年齢人口	484	505	519
老年人口	232	249	237
合計	813	868	886
(参考)世帯数	301	346	353

大和3丁目	2019年	2024年	2026年
年少人口	48	38	39
生産年齢人口	247	202	198
老年人口	142	143	135
合計	437	383	372
(参考)世帯数	167	150	163

大和4丁目	2019年	2024年	2026年
年少人口	142	182	186
生産年齢人口	550	578	556
老年人口	111	142	156
合計	803	902	898
(参考)世帯数	258	309	314

大和5丁目	2019年	2024年	2026年
年少人口	87	136	146
生産年齢人口	401	534	531
老年人口	184	217	233
合計	672	887	910
(参考)世帯数	257	373	383

大和6丁目	2019年	2024年	2026年
年少人口	41	18	13
生産年齢人口	128	92	87
老年人口	28	36	29
合計	197	146	129
(参考)世帯数	92	80	75

【（参考）南本町小学校区】

高田新田	2019年	2024年	2026年
年少人口	3	2	1
生産年齢人口	2	3	4
老年人口	2	2	2
合計	7	7	7
(参考)世帯数	2	2	2